

コンピュータのヘッドフォン出力端子に外付けスピーカーのミニプラグを接続します。音量は、コンピュータ側で調節しますが外付けスピーカー側にもツマミがあり、音量が調節できるものもあります。



留意点について

コンピュータやテレビの様々な映像端子について

コンピュータやテレビには、RGB (D-Sub15pin) 端子やS映像端子以外にも様々な映像端子があります。コンピュータとテレビそれぞれにどんな映像端子があるか、その種類によっては接続することができます。

< 主な映像端子の種類 >

| 端子名 | 端子の形状 | | 方式 |
|------------------------|-------|--|-------------------------|
| D V I - D 端子 | | | デジタル方式 |
| H D M I 端子 | | | デジタル方式 |
| D V I - I 端子 | | | デジタル方式 アナログ方式 両対応 |
| D 端子 (D1 ~ D5 端子) | | | アナログ方式 |
| アナログ R G B 端子 | | | アナログ方式 |
| S 映像端子 | | | アナログ方式 |
| ビデオ端子 (コンポジット端子) | | | アナログ方式 |

1 DVI-D端子やHDMI端子の場合

DVI-D端子とHDMI端子はデジタル方式です。同じ端子やデジタル方式の端子同士は接続できますが、アナログ方式の端子とは接続することはできません。

コンピュータとテレビにDVI-D端子やHDMI端子がある場合は、DVIケーブルやHDMIケーブルで接続したり、DVI-HDMI変換アダプタとケーブルで接続することができます。

< DVI - HDMI

変換アダプタ >



2 DVI-I端子の場合

DVI-I端子はデジタル方式とアナログ方式の両方に対応しています。デジタル方式のDVI-D端子と接続できますし、アナログRGB端子とも接続することができます。テレビにDVI-I端子があれば、RGBケーブルとDVI-I変換アダプタでコンピュータと接続することができます。

< DVI - I変換アダプタ >



3 アナログRGB端子やS映像端子の場合

アナログRGB端子とS映像端子については、「コンピュータとテレビ 使用方法について A (アナログRGB端子) B (S映像端子)」に記載してあります。

4 D端子やビデオ端子の場合

D端子の場合とビデオ (コンポジット) 端子の場合、コンピュータとテレビの両方に同じ端子がなければ接続することができません。

ただし、スキャンコンバータという機器を使用すれば接続することができます。例えば、スキャンコンバータを介して、コンピュータ側のアナログRGB端子とテレビ側のD端子やビデオ (コンポジット) 端子とで接続することができます。

スキャンコンバータの種類によっては、DVI-D端子、HDMI端子、DVI-I端子、D端子、アナログRGB端子、S映像端子、ビデオ端子に対応し接続できるものがあります。

スキャンコンバータとは

スキャンコンバータとは、水平同期周波数が異なるパソコンやテレビとの間などで出力信号を変換する装置のことです（水平同期周波数とは、ディスプレイの画面描画の速度を表す1秒間に描画するライン数のことです）。水平同期周波数はパソコンとテレビとで異なるため表示させるほうにあわせて出力信号を変換する変換装置が必要となります。

パソコンの画面をブラウン管テレビに映し出す場合は低い周波数に変換する必要があるのでダウンスキャンコンバータを使用します。

テレビ放送をパソコンの画面で見る場合やパソコンの画面を液晶テレビやプラズマテレビに映し出す場合等は高い周波数に変換する必要があるのでアップスキャンコンバータを使用します。

<スキャンコンバータ>



<ダウンスキャンコンバータ>

